

震災10年市民検証研究会（以下、研究会と略）は9月2日の設立発起人会の後、具体的な検証の枠組みについて議論を重ねてきました。10年検証の立ち上げを決めた8月11日も市民社会推進機構の合宿討議から延べ9回の会議を経て、9月29日の全体会でおおむね下記のような枠組みと進め方で取り組むことを決定しました。

1. 検証の視点

震災と10年間におよぶ震災からの復興の中で生まれた「新しい生き方」や「新しい市民社会」を生み出す仕組みなどに焦点を当て、市民の立場からみた震災復興の歴史的意味合いを紡ぎだす。検証の中では、1995年の震災以降の政治的、経済的、社会的な変化と関連づけるとともに、1990年代以降の歴史的な変動期の中における震災10年を位置づけることも重視したい。

2. 検証の枠組み

検証の枠組みは、大きく2つに分かれる。（別紙の一覧表参照）

一つは、「災害復興編」で、基礎的データの収集とともに、「震災で生まれたもう一つの生き方」に焦点を当てる。もう一つは、震災復興の中から展望されてきた新しい市民社会への動きや仕組みを検証する「市民社会編」。市民社会を動かす原理や、市民セクターの発展、市民セクターの発展を支援する仕組み、そして地域コミュニティーや参画・協働などを含めたガバナンス（協治）の時代への課題を検証する。

こうした2つの側面からの検証作業をクロスさせながら、復興10年間に体験してきたことや具体的な動きを見つめなおし、新しい市民社会への道筋を進化させていく新しい行動計画（第2次アクションプラン）を提言していく。

3. 検証の進め方

- ①検証テーマに沿ったテーマごとの研究会を設定し、テーマにふさわしい人に問題提起をしてもらい、関連する討論者を中心にした討論を行う中で10年間の評価と課題と抽出する。
- ②設定する研究会は、当面別掲のとおり展開するが、順次追加していく。テーマごとの研究会は報告者、討論者のほか研究会メンバーは自由に参加できるほか、原則公開とし、だれでも参加し、プログラムにしたがって発言できる。
- ③テーマごとの研究会は、当研究会が主催するもののほか、テーマにふさわしい団体やグループとも連携し、研究会を当該団体の主催で開催したり、別途シンポジウムやフォーラムのテーマに組み込んで開催することも追求する。多くの団体、グループの協働作業により10年検証を進め、成果を共有し、成果物に反映させる。
- ④基礎データの収集や個別ヒヤリング、これまでに公表された成果物等の収集や評価、取り入れの作業は、研究会と並行して別途チームを組んで取り組む。

4. 当面のテーマ研究会の設定

テーマ研究会は10月から、毎月2回程度のペースで開催する。当面は下記のテーマ研究会の日程を詰めるとともに、2004年1月下旬に「専門家の役割」をテーマにしたシンポジウムの開催を計画する。

- ①食生活をサポートする仕組みと活動

- ②外国人の自律をサポートする仕組みと活動
- ③高齢者の暮らしを支える、支えあう活動と仕組み
- ④企業市民から自律市民へ
- ⑤「障害者市民」の自律をめざして
- ⑥地域を自立させるコミュニティビジネスをめざして
- ⑦子どもの自律サポートに取り組む
- ⑧にぎわいのあるまちをつくる仕掛けと仕組み
- ⑨暮らしの自立へ移動の自由を支える仕組み
- ⑩震災9周年シンポ「専門家の社会的役割を検証する」(2004年1月下旬)

5. 検証結果のアウトプット

10年検証の結果は2004年1月17日前後に行われる震災10周年の市民とNGOの「防災」国際フォーラム等で発表するとともに、震災5年検証で出版した「市民社会をつくる～震災KOBEO発アクションプラン」の続編として出版します。

6. 検証研究会のスケジュールの概要

- ①2003/9～2004/6 調査研究および成果の整理、テーマ研究会の開催
- ②2004/7/17 中間報告会
- ③2004/7～2004/9 報告書のまとめ、執筆、編集
- ④2004/10～2004/12 報告書の制作
- ⑤2005/1/17 報告書の発表、発行
- ⑥2005/1～2005/3 報告書の配布、普及、フォーラム等の開催

7. これまでの経過

- 8/11 市民社会推進機構(CAS)日帰り合宿「10年検証」立ち上げ
- 8/27 幹事会。段取り協議
- 9/1 事務局会。段取り、枠組み協議
- 9/2 設立発起人会。組織運営、会費、役員、幹事等の決定。検証のコンセプト等
- 9/4 拡大事務局会。テーマの切り出し
- 9/14 テーマ会議。テーマの切り出し
- 9/18 企画委員会。テーマの枠組み。木口財団の助成金確定
- 9/22 企画委員会。テーマの枠組み
- 9/29 全体会議。枠組みの決定。進め方の決定。当面9つの研究会の設定と04/1のシンポ(専門家の役割)計画。会員呼びかけの決定